

## 医療法人おひさま会の患者さまへ

当法人では、患者さんの試料・情報を用いた下記の医学研究を、当法人の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

本研究への協力を希望されない患者さんは、その旨を下記の問い合わせに示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。なお、本研究への協力を希望されない場合でも不利益を受けることはありません。

研究課題名（研究番号）	生活の場における医療・ケアが患者のQOLと家族介護者の負担感に与える影響を評価する研究（ZEVIUS研究 第2弾） （No.004）
研究実施機関	医療法人おひさま会 おひさまクリニック・おひさまクリニック西宮・おひさま在宅クリニック
当院の研究責任者（所属）	山口高秀（理事長）
他の研究機関および各施設の研究責任者	*研究代表者 栗田 宜明（福島県立医科大学附属病院 臨床研究教育推進部長・特任教授） *参加施設 安中 正和（安中外科）、白髭 豊（長崎在宅ネット）、次橋幸男（天理よろず相談所病院）、飯田 英和（医療法人社団 鉄祐会）ほか 40施設
研究の実施期間	2025年1月14日（倫理審査委員会承認日）～2027年3月31日 （福島県立医科大学倫理審査委員会；REC2024-160）
研究の目的・意義	本研究は、在宅医療受療患者のQOLや家族介護者の負担感に影響を与える要因を明確にし、医療提供者がより個別化されたケアを設計するための基盤を提供することを目的とする。これにより、医療スタッフの適切な配分、支援サービスの見直し、適切な療養の場の選択、家族の負担軽減策の提案が期待され、また家族介護者の問題点を明らかにすることで、地域社会や政策決定者に対して問題解決のための働きかけを行うものとする。
研究の対象・方法	対象：上述の医療施設にて在宅医療を受療中の患者ならびに介護者（家族ほか） 方法：多施設前向き観察研究 ①主要評価項目：患者さんのQOL（生活の質） 家族介護者の負担感（自宅療養中の家族介護者の方のみ） ②解析：福島県立医科大学事務局にて解析予定
試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い（個人情報の項目）	本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人を識別できる情報（住所、氏名、生年月日）をすべて削除し、研究番号を振り分け、どなたのものかわからない匿名化データとして使用します。
お問い合わせ先	医療法人おひさま会 岡本敬久（電話：078-708-2522）
備考（利益相反など）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。